

2025-26 Weekly Bulletin **Tanabe Hamayu Rotary Club**

よいことの
ために
手を取りあおう



クラブテーマ

人は人のために
生きてこそ人

会長：山本康夫 幹事：大田忠博 会報委員長：光吉直也

事務所：〒646-0029 田辺市東陽 1-1 闘雞神社社会館内

田辺はまゆうロータリークラブ TEL0739-26-6181

例会場：〒646-0029 田辺市東陽 1-1 闘雞神社社会館 TEL0739-22-0155

創立年月日：1992 年 1 月 21 日 例会日：毎週火曜日 18:30～

URL：<http://www.aikis.or.jp/~t-hamayu/> E-mail：t-hamayu@vm.aikis.or.jp

2025-26 年度 RI 会長
フランチェスコ・アレツォ

第 2640 地区ガバナー
北野治義



田辺工業高等学校 校長 辻 強志様

会長挨拶

山本康夫

「ネームコーリング効果」

人は自分の名前を呼ばれると相手への高感性に変化が起きると言われています。

名前を呼ばれると、相手は自分を「認識、尊重してくれている」と感じ、好意を持つようになります。会話の冒頭に名前を入れることで、相手は「自分への話だ」と認識し、話に集中しやすくなるのです。

会話中に相手の名前を呼ぶことで高感性や信頼を高める心理術です。仕事では高感性が上がり親近感が湧く効果があり、信頼関係構築、部下育成、営業活動において有効であると言われています。

挨拶や依頼時に名前を添えるだけで 1 対 1 の特別感や自己肯定感を満たし円滑な人間関係や業務のスピードアップに繋がると言うことです。

本日のロータリーソング

手に手つないで



Today's Meeting

2026 年 5 月 26 日 (火)

外卓

(株)和歌山放送 紀南支社 田辺支局

山下博美様 (きよちゃん)

Next Week's Meeting

2026 年 6 月 1 日 (火)

田辺はまゆう RC 会員

職業紹介③

出席報告

(第 1544 回)

会員数	出席免除	欠席者	出席率
27 名	2 名	8 名	68%

ゲスト

田辺工業高等学校 校長 辻 強志様

幹事報告

メイクアップ

○加藤喜則 5/17 青少年奉仕委員長会議 和歌山市

例会変更

○白浜 RC 6/5 (金) → 6/8 (月) 18:30～《夜間例会》

6/12 (金) → 13・14 島根県《家族親睦旅行》

6/26 (金) → 6/29 (月) 18:30～《夜間例会》

6/19 (金) → 休会

配布

○週報 1544 ○理事会議事録 ○地区大会記録

回覧

○ハイライトよねやま 314

お知らせ

○5 月 24 日 (日) 9:30～12:00 13:00～16:00

田辺パピリオンシティにて献血活動を行います。

委員長報告

◎2026-2027 奉仕プロジェクト委員長 加藤喜則

«RI 第 2640 地区 2025-26 年度 新旧クラブ青少年奉仕委員長会議の報告»



5月17日、和歌山県JAビルでの開催の「新旧合同クラブ青少年奉仕委員長会議」の内容について報告します。

当日は、地区内各クラブの新旧青少年奉仕委員長が一同に会し、2部形式での会議となりました。

式での会議となりました。

第1部では、和歌山南ロータリークラブによる児童養護施設への奨学金事業の実践紹介がされました。

第2部では、全国自立援助ホーム協議会の川口副会長、社会福祉法人和歌山社会事業協会 児童養護施設こぼと学園の福島園長、全国児童家庭支援センター協議会の武田副会長、NPO 法人ミダス & ストックサポートの樋口副理事長以上4名の子どもの福祉に関わる専門家による、パネルディスカッションが行われました。

小中高生の自殺者数の過去最高の更新を始め、児童虐待件数も過去最高と、国内における子どもの環境は非常に厳しい状況にあります。

印象的だったのは、いまだに子どもは親や家庭で責任を持って育てなければいけないと思いませんか？との問いかけでした。ユネスコの子どもの権利条約の中に、子どもの育ちは社会全体の責任にある、つまり、社会的養護の実践がない限り、子どもは安心して成長できないとのことでした。

パネルディスカッション後、8グループに分かれて、次年度地区事業計画に示されている、身近な地域課題である「児童養護施設利用者」の課題、つまり児童虐待などの事情により両親と共に住めない子どもたちの本当の課題の洗い出しや地域に寄り添うために、ロータリークラブとして何ができるのかを議論しました。

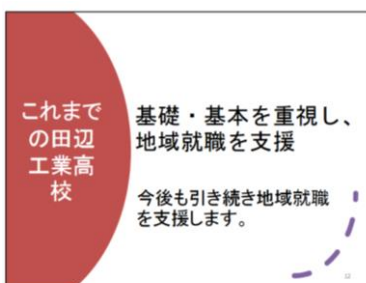
前回は報告させていただきましたが、地区として、児童養護施設への単なる寄付で終わるのではなく、継続的な支援を目指すため、児童養護施設ならびに利用者のニーズに添った取り組みを検討していただきたいとのことでした。



プログラム

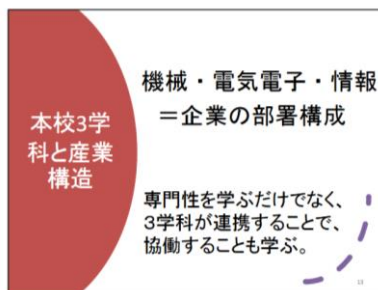
「田辺工業高等学校の取り組み」

田辺工業高等学校 校長 辻 強志様



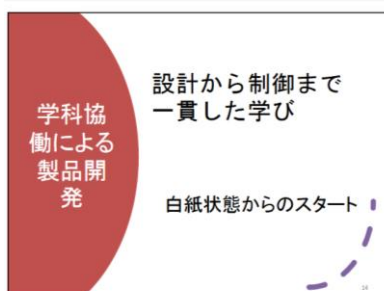
田辺工業高校で取り組む人材育成基礎・基本のマスターを中心とし地域に貢献できる人材を育成してきました。基礎・基本を大切にすることは安全管理から技術習得まで通じる大

切なものです。習得した技術を生かし地域（和歌山県内）で働く人材の輩出に努めます。



本校には、機械科・電気電子科・情報システム科の3学科があり、学んだ技術を組み合わせると、極端な例えですが、スマートフォンや電化製品を作ること

が出来ます。こうした製品に、学んだ基礎・基本がどのように生かされているのかということを学ぶ機会を作りたいと考えています。さらには、専門が異なる人が連携し、一つのものを作ることで様々なアイデアが湧きより良きものになることを学んでもらいたいと考えています。それを体験することで協働することについて学ぶことができます。



機械科で筐体を作り、電気電子科で電子基盤を作り、情報システム科で機能をプログラミングをすることで、一つの製品を作ることができます。それをなんと

か人工衛星の製作に向けられないかと考えました。また、昨年 10 月に大塚商会様から企業版ふるさと納税として、AI ロボット「temi」が寄贈されました。AI ロボット「temi」の活用と超小型人工衛星の制作が令和 8 年度より取り組む新たな事業となり、高度人材育成に取り組むことになりました。どちらも、白紙の状態からのスタートになります。全体像のデザインから詳細設計を行い、実際に動作可能な状態になるまでを一貫した学びとし、3 学科の生徒が互いに知恵を出し、試行錯誤を繰り返し、具現化することで、協働した学びを体験する。

なぜ今、工業高校が変わるのか

- ・人材不足
- ・技能継承
- ・AIによる効率化
- ・自動化の加速

・まずは、教員が新しい技術について学ぶ必要がある。

生徒の主体性を引き出すために
生徒と共に学び、伴奏する教員の育成

なぜ、高度人材を育成するのか。社会は、大きく変化しています。ここ数年における AI の進化はめざましいものがあります。AI がどれだけ進化しても今ある仕事全てが AI に取って代わることはなく、効率化が大きく進むものと考えます。その結果として、今ある仕事の多くが影響を受けることになります。しかし、AI には絶対に出来ないことがあります。それは、人を育てること、すなわち人材育成です。工業高校には、職人気質の先生や技術屋の先生まで、それぞれ個性ある先生が多くいます。個性ある先生方が持っている技術を、進化のめざましい現代社会においてどのように子供たちに伝え、継承していくのか。あるいは、先生方が進化にどのように対応していくのか。基礎・基本の伝え方について考えなければならない状況にあります。そのためには、工業高校が変わらなければならないと考えています。これまでと同じことを続けているだけでは、社会から取り残されてしまいます。そうならないために、まずは教員が新しい技術について学ぶ必要があります。そして、子供たちの主体性を引き出すために、生徒と共に学び、伴奏する教員に成長してもらう必要があります。

これから求められる人材像

AIを使いこなし、改善できる人材

今後は、効率化がさらに求められる社会になる。

社会では AI が急速な発展を遂げ、今や生活の一部となってきています。これからは、企業に限らず、様々な職場において AI と名の

つくものが導入されることになると思います。そんな時代だからこそ、AI をツールとして活用できる人材を育てることが必要であると考えています。

AIロボット temi の活用

令和7年度 大塚商会より
2台寄贈いただきました。

- ・自動案内
- ・プログラミング
- ・省人化
- ・オンライン授業

temi (デミ)

「temi」は、AI技術を活用した自律型移動のアシスタントロボットです。人の代わりに案内や受付を行ったり、ビデオ通話で離れた場所とつながる接客をしたりするなど、さまざまな用途で活用できます。



大塚商会HPより

まずは、AI ロボット「temi」について中心となる学科：情報システム科（株）大塚商会より 2 台寄贈され、今年度さらに 3 台寄贈される予定県内（桐蔭高校、海南高校、串本古座高校、本校の 4 校）テキスト開発：（株）クオリティソフト昨年度は、新年度の授業に向け教職員がテキストを読み解いてきました。

AIロボット temi の活用

情報システム科の授業内容に取り入れ実施

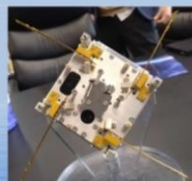
今年度は校内を中心とした取り組みを行う予定
将来的には、公共施設を中心に貸し出しを行う予定

機能として搭載されているものに、自動マッピング機能があり、平坦な場所であれば、プログラミングによって人を案内することが可能であり、この機能を生かし、最初は、学校玄

関で来客の案内や図書館の案内などを考えています。また、顔認証機能や Wi-Fi に接続することで、他の「temi」にも連携させることが出来ます。さらに、カメラを搭載しているので教室からオンラインで配信するなど出来るようです。将来的には、施設案内などを行いたい公共施設と協力し、貸し出しを行うことを予定しています。その前には何れともあれ、職員・生徒が使いこなすことが重要で、若い職員を中心に授業を展開する計画を立てています。

超小型人工衛星制作

工業技術の集大成教材として活用



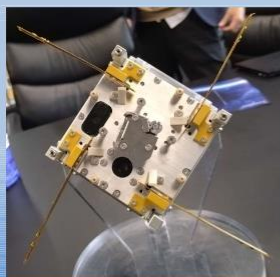
皆さんは人工衛星と聞くとどのような大きさのものを想像するでしょうか人工衛星には様々なサイズのものがあります。課題研究の中で機

械科・電気電子科・情報システム科の 3 学科が協働で各

分野の専門性を生かして制作を目指します。機体筐体を機械科、電源管理や電子回路を電気電子科、機能やデータ通信のプログラミングを情報システム科、社会にある電化製品の多くは本校にある3学科で基礎を学ぶことができ、この3学科が協力して取り組むというのは学校の中にはなかなか難しいことだと思います。これまで取り組んだことのないことですが、今回の超小型人工衛星を材料に協働・共創することが出来れば新たな工業高校のスタイルが出来あがるかもしれないと考えています。また、課題研究という授業には打って付けの題材であると考えています。本取り組みは、今年度から5年間を目標に超小型人工衛星を制作する計画を立てています。また、完成品が出来るまでにカイロスロケットが定期的に打ち上げられることを望んでいます。せっかく作るのですから、搭載し宇宙空間に放出される夢を持って取り組めることが、生徒や携わる職員にとっても励みになるからです。

超小型人工衛星制作

工業技術の集大成教材として活用



現実的に高校生が制作できる人工衛星は超小型人工衛星

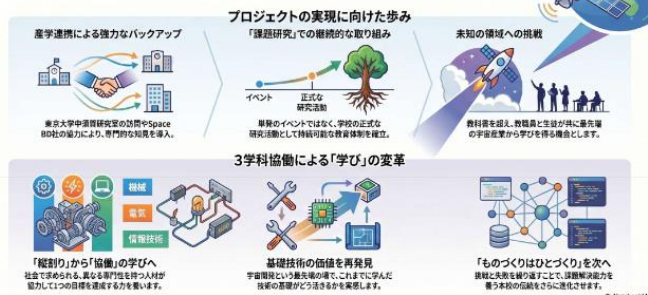
CubeSat 1U
一辺が約10cmの立方体型

搭載機能
小型カメラや各種センサー

サイズが小さいので一度に搭載できる機能には限りがある。

今年度は、最低でもモックアップ(実物大模型)サイズは1U(10cm×10cm×10cm)の制作。その中にカメラなど目的に応じた機能を搭載し、バッテリーや通信機器を納める。

3学科協働で挑む宇宙への挑戦： 田辺工業高校「人工衛星制作」プロジェクト



地域連携と宇宙港

串本古座高校と連携

- ・ 打ち上げ
- ・ データ活用

どのようなデータを計測するか、衛星設計から今後は、串本古座高校とともに進める部分もある

打ち上げ後は、串本古座高校にあるパラボラアンテナを活用し、データの送受信等を行う予定。串本古座高校とはこの取り組みを通じて連携し、衛星に搭載する機能を将来的には開発できればと考えている。

企業連携を前提とした学び

外部技術者・現場連携・実社会接続



昨年末には、私と各科1名の教諭が、東京のアーケエッジスペースという、小型衛星を制作する企業を見学させていただき、さらに、東京大学大

学院・中須賀研究室を訪問し、これまで東京大学が打ち上げてきた人工衛星や人工衛星制作に関する様々な分野の内容について話を聞かせていただきました。今年度からは3年生の課題研究の各科1グループが協働で各科の専門性を生かし、1つの人工衛星の制作がスタートします。初年度の今年度はモックアップ(実物大模型)を制作する計画になっています。制作に当たっては、外部の人工衛星制作に関わっている方に来校あるいはオンラインでの講義、指導助言も組み込んだ授業を展開する予定になっています。

まとめ

地域で育て、
地域で活躍する人材
をこれからも引き続き
輩出することが使命

これまで、どの学科も基礎基本に重きを置いた教育活動を行ってきましたが、現在進行形で社会のあらゆる分野にAIが導入されている状況から、これまでの基礎・基本中心とした内容をさらにブラッシュアップするために、最先端の分野からの学び（リバースエンジニアリング、人工衛星やロボット）、AIを活用した授業内容の展開なども進めていきたいと計画を立てているところです。引き続き、地域で活躍する人材を育成することが本校の使命であると共に、新たな産業界で活躍する高度人材育成も社会から取り残されない学校になるために必要なことであると考えています。以上、現状報告ではありますが、本校のこれからの人材育成の方向性についてお話しさせていただきました。ご清聴ありがとうございました。

東部小学校 まち探検



イルミネーション装飾



ひまわり種まき

自動車整備講習



避難経路草刈り



学童保育での防災出前授業



出前授業(第一小学校)



ニコニコ箱

山本康夫 辻様、本日宜しく願い申し上げます。楽しみにしておりました。

大田忠博 田辺工業高等学校 校長 辻 強志様、本日卓話よろしくお願いいたします。

加藤喜則 辻校長、いつもお世話になりありがとうございます。本日よろしくお願いします。

菅根 清 暑いですね。そしてもうすぐ梅雨ですね。いやですね。天候とケンカしてしょうがないですね。きげん良くすごしましょう。

坂本恵子 4月結婚記念日

杉山竜二 田辺工業高等学校 校長 辻様 よろしく願います。

坂本晶彦 **菊池正紀** **原田 覚** **高原 歩**

中家正幸 **片山佑弥** (同文)

裏橋真琴 早退おわびします。

山本敦洋 //